

グラジオラス抑制栽培における適品種

[要約]

8月定植の抑制栽培(10月下旬～11月中旬咲き)において、「シュガーベイブ」、「ソフィー」、「バックスター」、「常陸はなよめ」及び「マグマ」は、十分な切り花形質を示し、病害と奇形花の発生が少ない好適品種である。

茨城県農業総合センター園芸研究所	令和元年度	成果区分	技術情報
------------------	-------	------	------

1. 背景・ねらい

グラジオラス切り花生産において、生産量が減少する10月下旬から11月中旬にかけての端境期の出荷が求められている。しかしながら、低日照となる抑制栽培では、切り花形質と開花率の低下が問題となっている。そこで、グラジオラス抑制栽培における適品種を選定する。

2. 成果の内容・特徴

- 1) 切り花長は、全ての品種で100cm程度以上あり、また、小花数も全ての品種で「トラベラ」と同等以上である(表1)。
- 2) 病害は、「ひたち11号」ではウイルス病、「トラベラ」、「ピラブランカ」、「ハンティングソング」、「プリンセスマーガレットローズ」、「ベルベットアイズ」及び「ミルカ」では赤斑病の発生が特に目立つ(表2)。
- 3) 奇形花は、「アドレナリン」で8月16日定植:22%であり、特に目立つ(表2)。
- 4) 開花率は、「ピンクパーロット」(8月16日:20%)、「スノードン」(8月16日:77%)、「ピラブランカ」(8月1日:57%、8月16日:50%)、「ベルベットアイズ」(8月1日:75%、8月16日:62%)、「ひたち11号」(8月1日:75%、8月16日:73%)は80%を下回る(表2)。
- 5) 8月定植のグラジオラス抑制栽培において、適品種の選定基準を、切り花形質が「トラベラ」と同等以上で病害と奇形花の発生が少なく、開花率が80%以上とした場合、「シュガーベイブ」、「ソフィー」、「バックスター」、「常陸はなよめ」及び「マグマ」が適品種として選定できる。

3. 成果の活用面・留意点

- 1) 本成果は15品種を供試し、8月1日及び8月16日に定植を行った結果である。
- 2) 花色は選定基準から除外する。
- 3) 曲がりが多発したのは、平成30年度は台風24号(10月1日)、令和元年度は台風15号(9月9日)と台風19号(10月12日)の影響と考えられる。

4. 具体的データ

表1 グラジオラス抑制栽培における切り花形質

品種	花色	定植日	開花日 ¹⁾	到花日数 (日)	切り花長 (cm)	切り花重 (g)	花穂長 (cm)	葉数 (枚)	小花数 (個)	花径 (cm)	茎径 ²⁾ (mm)
シュガーベイブ		8/1	11/5	96	108	140	46	8.7	13	9.9	9.7
		8/16	11/15	91	115	158	51	8.7	15	10.1	10.4
常陸はなよめ		8/1	10/24	84	121	138	44	9.9	12	11.0	7.8
		8/16	11/5	81	121	135	43	9.6	11	11.0	7.7
アドレナリン	ピンク	8/1	10/30	90	99	131	41	8.3	15	9.1	8.8
		8/16	11/13	89	109	152	47	8.2	17	9.3	9.7
トラベラ		8/1	10/27	87	99	96	34	8.2	10	9.4	7.2
		8/16	11/11	87	111	115	39	8.4	12	9.4	7.9
ピンクパーロット		8/1	11/15	106	104	119	41	8.2	12	8.9	8.0
		8/16	11/23	99	111	175	47	8.3	15	10.2	9.3
ソフィー		8/1	10/24	84	118	159	51	8.8	16	10.0	9.0
スノードン	白	8/16	11/6	82	124	177	54	8.7	17	10.0	9.4
		8/1	10/26	86	121	150	42	9.4	13	10.1	8.4
ピラブランカ		8/16	11/16	92	129	174	41	9.6	13	9.7	8.5
		8/1	11/11	102	117	165	47	8.8	17	10.6	10.9
マグマ	赤	8/16	11/5	96	125	157	47	10.2	14	10.4	9.3
		8/16	11/12	88	130	196	52	11.0	16	10.8	10.2
ハンティングソング		8/1	10/9	69	118	134	46	7.9	14	10.5	9.1
プリンセスマーガレットローズ	複色	8/16	10/27	72	111	132	42	8.1	13	10.8	8.8
		8/1	10/21	81	111	113	39	8.5	11	7.8	7.7
バックスター		8/16	10/31	76	114	125	40	8.9	11	7.7	7.6
		8/1	10/22	82	98	81	35	8.6	11	9.0	6.5
ベルベットアイズ	紫	8/16	11/2	78	102	90	36	8.8	11	9.2	6.9
		8/1	11/9	100	121	127	44	9.5	12	9.3	8.2
ミルカ		8/16	11/26	102	131	163	48	9.6	14	9.6	9.0
		8/1	10/27	87	108	103	42	8.0	11	10.1	7.6
ひたち11号	黄	8/16	10/30	75	122	140	49	8.3	12	10.3	8.3
		8/1	10/25	85	105	94	45	9.2	14	7.3	6.7
		8/16	11/6	82	111	107	48	9.3	16	7.5	7.1

表2 グラジオラス抑制栽培における病害等の発生株率及び開花率

品種	花色	定植日	発生株率 ³⁾ (%)						開花率 (%)	選定
			ウイルス病	乾腐病	首腐病	赤斑病	奇形花	曲がり		
シュガーベイブ		8/1	14	19	10	25	0	40	82	○
		8/16	4	15	2	30	2	29	90	
常陸はなよめ		8/1	0	0	0	28	0	48	95	○
		8/16	0	0	0	9	2	69	92	
アドレナリン	ピンク	8/1	0	18	0	27	5	9	93	
		8/16	0	2	2	5	22	5	90	
トラベラ		8/1	5	0	7	58	0	22	91	
		8/16	16	2	4	35	2	12	95	
ピンクパーロット		8/1	8	8	8	8	0	16	83	
		8/16	0	0	0	0	0	33	20	
ソフィー		8/1	4	6	8	23	0	32	88	○
		8/16	5	7	2	5	2	41	97	
スノードン	白	8/1	2	10	11	25	0	25	92	
		8/16	0	7	7	17	0	19	77	
ピラブランカ		8/1	12	6	6	65	0	6	57	
		8/16	13	20	13	13	0	20	50	
マグマ	赤	8/1	0	3	3	3	0	38	97	○
		8/16	0	25	17	0	0	13	80	
ハンティングソング		8/1	0	0	0	19	0	9	97	
		8/16	0	0	0	39	0	17	98	
プリンセスマーガレットローズ	複色	8/1	0	0	0	52	0	59	100	
		8/16	0	0	3	23	0	33	100	
バックスター		8/1	5	14	11	4	0	14	92	○
		8/16	2	0	0	5	0	3	98	
ベルベットアイズ	紫	8/1	3	0	0	52	8	35	75	
		8/16	2	7	0	21	0	17	62	
ミルカ		8/1	0	0	0	58	0	50	87	
		8/16	0	0	0	14	0	21	93	
ひたち11号	黄	8/1	42	12	22	0	7	13	75	
		8/16	24	5	16	2	5	17	73	

注) 平成30年度及び令和元年度に園芸研究所(笠間市安居)において、約30個体を調査した。また、「ピンクパーロット」、「ピラブランカ」、「マグマ」、「プリンセスマーガレットローズ」及び「ミルカ」は令和元年のみの試験結果である。

注) 降霜により、平成30年度は12月10日、令和元年度は11月28日に調査を打ち切った。

¹⁾ 第1花開花日を開花日とした。

²⁾ 第1花から1cm下部を測定。

³⁾ 採花本数の内、病害、奇形花及び5cm以上の曲がりが発生した株の割合。

5. 試験課題名・試験期間・担当研究室

グラジオラスの作期拡大のための安定生産技術の確立・平成30～令和2年度・花き研究室